

## 平成27年度 第2回 湖西市総合教育会議議事録

1 日 時 平成27年7月23日(木) 午前10時～午後0時04分

2 場 所 湖西市役所 市長公室

3 出席者

### (1) 構成員

市 長 三上 元

教育委員会

教 育 長 山下 宗茂

委 員 柴田 隆夫 袴田 雄司 飯田 宣子 佐原 陽子

### (2) 意見聴取のための関係者として出席した者

教育次長兼図書館長(落合 進)

教 育 総 務 課 長(竹上 弘)

学 校 教 育 課 長(渡辺 宜宏)

幼 児 教 育 課 長(杉浦よしみ)

社 会 教 育 課 長(朝倉 陽美)

文 化 課 長(切池 融)

ス ポ ー ツ 推 進 課 長(河合 利和)

### (3) 会議の事務のために出席した者

教育次長兼図書館長(落合 進) ※再掲

教 育 総 務 課 長(竹上 弘) ※再掲

教育総務課長代理(三浦 祐治)

4 協議又は調整に係る事項

(1) 湖西市教育大綱について

(2) 今後の事業計画について

5 協議又は調整に係る事項に関する出席者の発言

別紙のとおり

午前10時00分開会

**(教育次長兼図書館長)** ただいまから、第2回の湖西市総合教育会議を開催する。開催に当たり、三上市長から挨拶をお願いします。

(三上市長 挨拶)

**(教育次長兼図書館長)** 協議事項(1)教育大綱について、教育長から説明願う。

**(山下教育長)** 前回の総合教育会議の中で、現在、教育委員会が担っている様々な事業、各課の具体的な計画等について説明した。市民への周知のために具体的な事業計画についても掲載したいという話をしたが、市長から、教育大綱という名称からすれば大本になるものであるので、事業計画等具体的な部分については割愛をしたいという回答をいただいた。

そこで、手直しをしながら教育大綱にふさわしいと思われる案を作った。事業計画等については、参考資料とした。市長にも同じものを見ていただき、市長部局でも検討していただいた内容である。教育委員にもあらかじめ案を示してある。市長から案に対する意見をいただいているので、まずはその思いを述べていただきたい。

**(三上市長)** 表紙の部分が教育大綱らしい骨子の部分だろうと思うが、表紙の言葉のどこかに「大自然への感謝の心をはぐくむ」という言葉を入れてほしい。

「教育委員会の役割と実現のための具体的な施策・事業」については、はずす。

「湖西市教育大綱の位置付け」の「基本理念の策定」については、「大綱の策定」とし、その表現を「本来は教育大綱を先に定め、この基本理念に基づき、以下の計画を定めるものであったが、当市の場合には既に平成25年に教育振興基本計画を定めたので、基本理念の部分を改めて教育大綱として定める」という表現にしてほしい。同じく「計画の推進」に関しては、「25年制定の教育振興基本計画とともに、26年策定の湖西市生涯学習推進計画及び湖西市スポーツ推進計画を含めた三位一体の計画を推進する」としてほしい。同じく「実施計画の設定」については、「教育委員会の役割と実現のための具体的な施策・事業」がなくなったことによって自動的に削除。

基本理念の図の「他人に対する思いやりや素直な気持ちを持ち」というところに「大自然への感謝の心をもった人」というふうに、日本人の底流に流れる考え方というのは大自然への感謝であるというのをどこかに入れてほしい。

**(教育次長兼図書館長)** それでは委員の皆さん、今の市長の考えを聞いて意見があればをお願いします。

**(山下教育長)** この教育大綱案全体に対して、まだ委員の皆さんの意見を十分に伺っているわけではないので、他の部分についても委員からいろいろな意見を出していただきたい。

**(柴田委員)** 私は、特に問題ないと思った。市長が言われるように、「大自然への感謝の心をはぐくみ」を表紙に入れるのならば、骨子をもう一つ足した方がすっきりし、より強調されるのではないか。

**(飯田委員)** 私は、「明日の湖西を創る“ひと”とは……」というところがとても大事だと思っている。「明日の湖西を創る“ひと”」はどういう人であるかが具体的に書かれている。また、「ふるさとに学び、ふるさとを知り、ふるさとに伝える」についても丁寧に説明しており、とても大切なところではないかなと思う。文章を読んでとても響くものがあった。細かい希望については、事前に教育長とのメールのや

り取りの中で話したことが反映されており、私からは今具体的な修正等はない。

「大自然に感謝をする」という言葉については、やや唐突な感じがする。「大自然」という言葉のイメージは、人によってとらえ方が変わってくるのではないか。この「大自然」とは日本の大自然という意味か。

**(三上市長)** 宇宙も含めた大自然である。人間のルールではなく、大自然のルールの中に我々は生かされているという考え方は、教育の土台ではないかという意見である。西洋流では、自然というのは克服すべきものというところがあるが、日本にはそういう考え方はない。克服すべきものではなく、畏敬すべきものである。大自然の法則に逆らってはいけないという考え方。だから、「感謝の心」ではなく、「大自然への畏敬の心をはぐくむ」でも何の問題もない。「大自然への」という言葉をどこかに入れてほしい。ただ、「ふるさとの」が付くと、「大自然」は変とも言える。「ふるさとの自然」というふうに「大」を取った方が文章としては流れとして良いのかもしれない。「ふるさとの文化と歴史」は分かるけれども、「ふるさとの大自然」という表現は、そういう意味では変である。「ふるさとの自然への畏敬の心をはぐくむ」ということになるのかもしれない。

**(柴田委員)** 「ふるさとの自然への」ということであれば、「畏敬」より「感謝」の方が良さそうな気がする。浜名湖の幸の恵みもあり、漁業関係の方もたくさんいらっしゃるので、それに感謝するという意味の方が、「大」を取って「自然」ということであれば、その方がいいと思う。その方が、大綱にするのならいいのかなと思う。

**(三上市長)** 「ふるさとの」とするならば、確かに「ふるさとの自然への感謝の心をはぐくむ」の方がいい。私もその表現でいいと思う。

**(袴田委員)** 市長の思いとしては、「大自然の」というのは一番中心に持ってきてきたい中身なのか。

**(三上市長)** 一番でなくてもいいのだが、子どもたちに伝える重要な一つだという意味では一番とも言え、底流、土台だということである。

**(袴田委員)** それによって、大綱自体が大分変わってくる。「ふるさとの」と入ると連動してくると思うが、「大自然」をベースにするととなると、大綱の中身を少し変えていかないと厳しい。

**(三上市長)** そういう意味では、今の大綱案の流れに沿って一部修正するのであれば、「ふるさとの自然への感謝の心をはぐくむ」で、私は問題ない。

湖西市民憲章に、「自然を生かし水と緑のきれいなまちをつくりましょう」と、「自然」というのが入っている。合併前の新居町民憲章にも入っていた。市民憲章との連動のためにも、「自然」を入れたい。私の気持ちとしては本当は、「ふるさとの」を取って「大自然への畏敬の念をはぐくむ」としたいが、この大綱案の「ふるさとの」ならば「自然」として、「大」を付けなくていい。

**(佐原委員)** 「大自然」と「自然」は、「大」があるかないかだけではなく、「大自然」と言ったときの市長の思いは、「ふるさとの自然」とはちょっとまた違うものにあるのではないか。市長の思いはとても分かる。そういう人も湖西市ではぐくんでいきたいという思いも、とても分かる。提案のあった「ふるさとの自然への感謝の心をはぐくむ」というのであれば大綱に載せやすいが、「大自然への感謝」となると、この大綱に何かプラスして、大自然に子どもたちが関わるようなことも盛り込んでいくような方向になるという気がする。「大自然」に関する補足説明か何かがないと、意図するところが伝わらないのではないか。「ふるさとの自然」というところで落ち着くのであれば、私としては良いのではないかと思う。

**(三上市長)** 私の素直な気持ち、本心を言うのならば、「ふるさと」がなく、「大自

然への畏敬の心をはぐくむ」というふうにしてほしいのだが、しかし、この流れからいくと違和感があるから、やはり「ふるさとの」を付けて「大」を取った方が良いと思う。「ふるさとの自然への感謝の心をはぐくむ」でもいい。湖西市民憲章には、一番最初に「水と緑」というのが出てくる。そして、市民憲章の五つ柱の一つにも出ている。だから、この「自然」に関するものを、教育大綱のどこかにも入れたいだけである。「ふるさとの」が付くと「大自然」ではおかしい。「ふるさとの自然」ならいい。「ふるさとの」を取って、「大自然への畏敬の心をはぐくむ」とすると、これだけ違和感があり、次元が違うものになってしまう。

**(山下教育長)** 実は、「ふるさとに学び、ふるさとを知り、ふるさとに伝える」という言葉についての説明の中に「ふるさとの自然に学び、歴史に学び、先人に学び、今に生きる人の背中に学び」と書いた。ここに「自然」という言葉が入っている。表紙のこの「ふるさとの」という五つの言葉、キャッチフレーズについては、この教育委員会が教育行政としてこれまで行ってきた、これからも行っていく施策等をまとめた表現である。「大自然の」という話になってくると、宗教的なにおいも感じ、教育行政の中には入れにくいというのが正直な感想である。「ふるさとの自然」ということであれば、「自然と文化と歴史を継承する」という表現であれば、この説明文と合致する内容になると思う。最初に市長がおっしゃったように、「自然への感謝」とか「大自然への感謝」を特出しで項目として入れるのは、流れからいっても、教育行政との連携という点でも、非常に難しい。もし入れるのであれば、今言ったような形で「自然と文化と歴史を」というような表現にさせていただけるとありがたい。市長のおっしゃるような教育大綱では了解しにくい。

それから、基本理念の図に同じような文言を入れるという話であるが、「大切なものを愛する心を持った“ひと”」という規定をしており、「自然への感謝」というのも当然この中に含まれ、「自然への感謝」よりも「大切なものを愛する」という方が広範囲で分かりやすいと思う。また、既にこの基本理念の図については、教育振興基本計画策定以後ずっとこの形で市民に周知しているため、今の段階では変えられない。

それから、「湖西市教育大綱の位置付け」の「基本理念の策定」については、本来、基本計画よりも教育大綱の方が大きいし、上位にくるのは当然であるので、市長がおっしゃったような形で、内容を変更しても構わない。

それから、具体的な事業計画等については、この総合教育会議の中で協議をさせていただけるという話であるので、教育大綱に載せないということで、私自身は了解した。

**(三上市長)** 今、皆さんに一人ずつ意見を述べていただいた後、教育長の方からこんな形でまとめてはどうかという意見が出されたというふうに理解をする。皆さんにもう一度お聞きします。まず、表紙のところに関しては、確かにそこだけ宗教的とか哲学的な「大自然への畏敬」というのが入ってくることが教育大綱の中では異質な感じがするということであるならば、教育長の言うように、「文化と歴史を継承」の冒頭に「自然」を入れることでよろしいか。

(「はい」と呼ぶ者あり。)

**(三上市長)** では、表紙の問題に関してはそのような形とする。次に、「湖西市教育大綱の位置付け」については、市長案で良いとの意見が出された。このことに関しては委員から発言はなかったが、どう考えるか。

**(柴田委員)** 前々から教育長から説明されていたとおりであるので、これはそのとおりで良いと思う。

**(三上市長)** では、「湖西市教育大綱の位置付け」はタイトルそのままにして、「基本理念の策定」のところは市長案が入り、「計画の推進」はそのまま、「実施計画の

設定」は削除でよろしいか。

(「はい」と呼ぶ者あり。)

**(三上市長)** 基本理念の図については、変更しないということで了解した。他に特になければ、教育大綱についてはこれで議論を締める。

**(教育次長兼図書館長)** 次に、協議事項(2)今後の事業計画について、教育長から説明願う。

**(山下教育長)** 第1回の総合教育会議の中で現在行っている各課の事業内容、事業計画について説明した。予算が絡む部分も当然出てくるため、計画について大筋のところでも市長の了解をいただかなければいけないと考え、あらかじめ市長部局の方でも検討してほしいと渡した部分である。これについて意見交換をしたい。

**(三上市長)** 方針の確認ということで了解した。それでは、冒頭の教育総務課の「給食センターの整備事業」について、説明願う。

**(山下教育長)** 今はそれぞれの学校に調理室が設置されており、その学校の子どもの給食を毎日作っている状況である。ただ、施設の老朽化によって維持管理にお金がかかるし、調理器具等についても更新の必要があり、非常にコストがかかる。そういう施設・設備に対するコスト削減のためにも、一括した給食センターを建て、集中してメンテナンスを行う方が効率的ではないかと考える。

また、現在アレルギーを持った子どもが非常に増えている。このアレルギーについては、非常に神経を遣って給食を作っている。たとえば、卵アレルギーの子については、1人の給食員が常に殺菌をしながら、フライパンとか調理器具も全て別のもので卵に関するものが付着しないような形で調理を進めなければいけない。たとえ1人の子どもに対してもそういう形をとらなければいけない。市内の全ての学校の子どもの給食を給食センターで作るということになれば、各学校にいる同じアレルギーの子の給食について、一括して1人の給食員がそれを賄うことが可能になり、調理員の負担が減り、間違いのない状態が常に徹底できると思う。

昔と違って、配送用の保温器等も非常に良くなっており、給食センターで作って各学校に配送しても、常に温かい給食を全ての学校の子どもたちに提供できるというメリットもある。

最後に一番大きいのは、調理員の確保である。3人でやっているところを1人休むと2人で給食を作らなければいけない。今、ぎりぎりの状態でやっている。給食センターにすることにより、そういう人員の不足にも適切に対応できるようなシステムが構築できるのではないかと考える。ただ、造る際にお金がかかるのでなかなか難しいことだが、そろそろ前向きに検討する時期に入ってきているのではないかと考える。

**(三上市長)** 提案の趣旨は分かった。これについて、委員の皆さんは議論しているのか。

**(山下教育長)** 前から少しずつ話をさせていただき、意見交換等はさせていただいている。ただ、先進地の視察まではまだ行っていない。

**(教育次長兼図書館長)** いったん、休憩を入れる。

午前11時00分休憩

午前11時10分再開

**(教育次長兼図書館長)** 休憩を解く。給食センター設置に向けての検討についてはよろしいか。

**(三上市長)** 27年度に設置を検討することについては、何の問題もない。了解する。次の「小・中学校校舎補強改修事業」については、静岡県基準を満たすように耐震補

強をすることについては問題ないが、計画年度に関してまでは、今は回答はできない。

**(山下教育長)** 分かった。年度をはずす。

**(三上市長)** 次は、学校教育課に移る。

**(山下教育長)** 「学校施設の検討」については、湖西市内の公立の小中学校の適正規模、適正配置等について、検討委員会を開催し、検討していくということである。文部科学省からも小規模学校の統合等について指針が出されているので、それを踏まえて検討する。ただ、検討委員会委員の旅費について予算措置がされていないため、補正予算措置をお願いしたい。

**(三上市長)** 検討について、賛成である。学校の統廃合についても検討するのか。

**(山下教育長)** ここ数年の話ではなく、将来的にということでも検討する。文部科学省の指針は、複式学級を設置したような学校についてはこれから統廃合について検討をなささいという話であり、湖西市内の場合は小規模であっても、まだ複式学級のよう形には当分ならない。

ただ、学校間の児童生徒数の差がかなり大きくなっているのも、通学区域の変更等についても含めるし、ひょっとすると自治会の改編についても提言のような形が出るかもしれない。そういう意見を聞きたいということである。

**(三上市長)** 分かった。これに関しては、旅費について補正予算措置を講じたい。次は、「特色ある学校づくり推進事業の充実」。これについては、何が問題か。

**(山下教育長)** これも、実施に伴う予算が当然必要であるので、今後も継続しての予算要求という形である。

**(三上市長)** 分かった。

**(山下教育長)** 次の「特別支援教育推進事業の充実」については、特別支援を必要とする子どもたちが年々増加しているため、支援員等についての配置増をぜひ考えていかなければいけないということも含めて、継続実施ということでも挙げた。

**(三上市長)** これは、せざるを得ないと思う。そういう生徒が増えてくれば、支援員もそれなりに増員が必要だろうと考える。次は、「教職員研修推進事業の充実」。

**(山下教育長)** これについては、継続ということである。

**(三上市長)** これも別に、なくせという理由はない。

次は、幼児教育課である。幼児教育は、市の財政上の理由から、できるだけ私立にしたいという意向を、大きな方向としては持っている。保育園も基本的には公立ではなくて、私立に変えていきたい。幼保一元化するものに関しては、保育園型で幼稚園も付加するという形態と、幼稚園が延長保育をするような形態と二つあると思うが、財政上の理由から保育園を主体にして幼稚園もあるという形にすると民営化できるのではないか。大きな流れは基本的には、義務教育以外は民営化という方向で考えていただきたい。急ぎはしないが、そういう方向でないと財政的には大変しんどい。あちこちのまちは、そういう方向に向かっている。

学校教育課の話に戻るが、プールについてはものすごいお金を食うが、年間を通じてそれほど使っていない。地元の人ほとんど使っていないという状況である。たとえば、どこかスクールのようなところにプールをお願いし、そこに車で送り迎えした方がよほど安いというのであれば、プールのあり方については抜本的な検討をしていただきたい。そういう形でのコストダウンを、プール問題は検討していただきたいと思う。

**(山下教育長)** それについては今後検討する。ただ、水泳の授業をやるだけの話ではなく、小学生も水泳記録会を毎年やっているし、いろいろな学校行事等との絡みもある。それらも含めて検討していく。

幼稚園、保育園の民営化の話については、具体的に手を挙げてくださるところがな

ければ、先に進まない話であるので、それはそれとして公立の保育園、幼稚園の再編計画はやらなければいけない。その計画の検討を今年度からやりたいと思っている。それが(2)の「公立保育園・幼稚園再編計画の検討・策定」である。

**(三上市長)** それはぜひやっていただきたい。

**(山下教育長)** その中に「新居幼稚園の認定こども園、内山保育園の乳児特化等検討、準備、実施」というのがある。

**(三上市長)** これについては、説明会の結果どうなったか。

**(山下教育長)** 非常に厳しい結果であった。解消できない次元の問題が結構あるので、これについては、一度割愛をさせていただかざるを得ないと思っている。

**(教育次長兼図書館長)** 今の件については、今度の議員全員協議会で結果を報告したいと思うが、よろしいか。

**(三上市長)** 無理して進めることは見合わせるという報告をするということか。

**(教育次長兼図書館長)** そういう報告をしたいと思っている。

**(三上市長)** 分かった。次は「公立幼稚園における一時預かり事業の充実」。

**(山下教育長)** 幼稚園は今、ちょうど夏休みである。子どもたちが来ていないのだが、そのときも保育園と同じように子どもを預からないと親御さんは就労できないので、幼稚園の子どもについても、夏休み中どこかで、希望があれば預かりますという事業を立ち上げたいと思っている。それについてもまた予算に関わるので、ぜひお願いしたいと思う。

**(三上市長)** 長期休暇中のセンター方式ということは、各幼稚園でやらなくてもいいという意味か。

**(山下教育長)** たとえば、ある幼稚園の1室を借りて、そこで市内の全ての幼稚園児を、希望があれば預かるというような形で、まずは試行したいと思っている。

**(三上市長)** 分かった。その方向でお願いします。次は、「公立保育園・幼稚園における特別支援教育の充実」。

**(山下教育長)** 保育園、幼稚園にもかなり多くの特別支援を必要とする子どもたちが入っている。小・中学校だけではなく、早いうちから支援員を付け、その子に合った対応をしないと、なかなかその子の自立に結び付かない。これについてもぜひお願いしたい。

**(三上市長)** 基本的な考え方としては、この方針を納得するが、金額や年度までは了解はできない。次は、社会教育課。

**(山下教育長)** 「家庭教育サポート事業の充実」については、継続して取り組んでいくことを了解いただければと思う。

**(三上市長)** 分かった。

**(山下教育長)** 「生涯学習の推進事業の充実」も現在行っているところだが、継続して実施していきたいということである。

**(三上市長)** 分かった。

**(山下教育長)** 問題は「学習活動の環境整備の推進」である。社会教育課が所管する西部公民館、北部地区多目的研修集会施設、南部地区構造改善センターについては、そろそろ様々な部分で修繕が必要になってきている。これについては計画を立てて順次やっていかないと、施設そのものの活用が非常に難しくなってくると思っている。かなり予算の張るものも実際にはある。

**(三上市長)** そういう話が出たことは了解する。

**(山下教育長)** 次は、「おちばの里親水公園周辺の整備」。ここは、どこが所管をしてどうするのが不明確なところである。たとえば、せっかく大知波峠廃寺という文

化財があるにもかかわらず、そこへ行く道がいつもひどい状態というわけにはいかな  
いだろう。では、どこがやるのかという話になると、たらい回しの状態である。そこ  
で、おちばの里親水公園を所管している社会教育課に依頼をして、こういう形にさせ  
てもらった。今後どうするかについては検討しながら、予算がかかるのであれば折衝  
をしなければいけないと思っている。

**(三上市長)** お金の問題は別にして、承った。

**(山下教育長)** 次は、文化課である。「市民会館の耐震補強及びリニューアル事業の  
推進」については、カットする。

「新居関所保存活用事業の推進」については、最初の計画よりも遅れているが、順  
次進めていく。あとは観光面も含めてどう活用してくかを検討していきたい。

**(三上市長)** これは、お金が文部科学省から出ているから、担当は教育委員会の窓口  
にならざるを得ないのだが、これはまさに商工観光課と連動してやってほしい。復元  
がほぼできた段階では、毎年ではなくてもいいが、関所祭りを復活したい。毎年はか  
なりしんどいのであれば、4年に1回、5年に1回とか10年に1回でもいいのだが、  
何らかの形で復活するとしたら、きっかけはこの船会所、女改め長屋ができた記念の  
ときに。

**(飯田委員)** 関所祭りはどういう目的でやるのか。

**(三上市長)** 観光である。

**(飯田委員)** 観光客を呼び、湖西市や新居のことを知ってもらい、そこにお金を落と  
してもらおうということか。

**(三上市長)** そういうことである。

**(飯田委員)** その仕組みを作るきっかけとして祭りをやりたいということか。

**(三上市長)** まさにそうだと思っている。

**(飯田委員)** 分かった。そうすると、1回やって終わりではなく、定期的にやってい  
き、観光客を継続的に呼び、観光客に満足して帰ってもらうような、地域が活  
性化してくような仕組みとセットでやっていくということか。

**(三上市長)** 全くそのとおりである。

**(山下教育長)** 次は、「文化財保護及び活用事業の推進」ということで、今、文化課  
の方で持っているいろいろな文化財等についての保護保存を進めていきたい。発掘資  
料等もたくさんあるのでこれを整理して、展示資料として活用を図りたい。継続事業  
である。今年度、湖西中学校の南校舎の1階部分に、市内の歴史というテーマで年代  
順の展示資料等を常設し、子どもたちの学習活動の参考にしてもらおうという試み  
を行っている。ただ、他の学校の子どもたちが来るには場所的に難しいので、巡回等  
についても検討しなければいけないと思っている。

**(三上市長)** 継続ということで了解した。

**(山下教育長)** 次は、「芸術文化の振興と活動支援事業の推進」。これまで幼児向け  
のミュージカルや小学生対象の巡回劇場などを行っている。ただ、一般対象の自主文  
化事業については、市長から採算に合わなければだめだという話もあるので、これに  
ついては今検討している状況である。幼児向けのミュージカル、小学生対象の巡回劇  
場等を今後も継続して行っていきたいというのが基本線である。

**(三上市長)** 集客努力をしないと赤字になる。集客努力をすると黒字になる。だから、  
民間にそういうものをさせればいいと思う。民間がやると損益が合う。市が主催する  
必要はないが、損益が合えばやってもいいということである。

**(山下教育長)** ただ、現状では民間が手を挙げてくれるホールがないので、そういう  
意味ではしばらく、この自主文化事業は難しいだろう。

**(三上市長)** 了解した。

**(山下教育長)** 次は、スポーツ推進課である。まずはスポーツ推進計画に実施する事業として掲げたウォーキングや散歩ができるモデルコースづくりと、ラジオ体操ができる環境づくりの2点に絞って今後、2、3年でやっていく。パンフレットやコースの案内板にお金がかかるので、これについて認めていただきたいと思っている。それほど大きな金額ではない。

あともう1点は、「ライフステージに応じたスポーツ活動の推進」について、現在行ってる教室、講習会等について、継続的に実施をしていきたいということである。

問題は、運動施設の維持管理事業である。議員の皆さんからも市内の公共施設等について様々な要望をいただいている。みなと運動公園の野球場、テニスコートの整備、新居のスポーツ広場のテニスコート等が今のところ挙がっているが、かなりの金額である。これは一応予定ということで、できるかどうか分からないが、こういう形で施設の維持管理、改修をしたいということである。これも方向としてはよろしいか。

**(三上市長)** もちろん、方向としては良い。金額の大小についての可否は言えない。

**(山下教育長)** 分かった。

次は、アメニティプラザの指定管理のことであるので、これは問題ないかと思う。

また、新居体育館についても指定管理者制度を導入したいという計画である。

次に、図書館である。図書館については、今年度で子ども読書推進計画が終わってしまうので、現在、新たな推進計画を5年計画で策定するという事業を進めている。これについては、計画の冊子等を作るお金が必要になってくるとは思うが、あとの部分については、審議をするという状況である。

また、「図書館の実態把握と改善策、在り方とその方向性の検討」については、市長からもたびたび指摘がある図書館の来館者数、利用者数の減少傾向についての歯止め、今後の図書館のあり方について検討をする時期に来ており、これは検討を進めていくという話である。指定管理者制度の導入も含めて検討させていただくので、了解いただきたい。

**(三上市長)** 了解した。

**(教育次長兼図書館長)** 「今後の事業計画について」は、以上で終了してよろしいか。  
(「はい」と呼ぶ者あり。)

**(教育次長兼図書館長)** では、その他として事務局の方から何もなければ、総合教育会議を閉じてよろしいか。

**(山下教育長)** これで2回、総合教育会議を開き、教育大綱等について協議したわけだが、今後、総合教育会議で教育課題等についても市長と共有をしたいと思っているので、年にあと1、2回、総合教育会議を開催していただきたい。

**(三上市長)** 年3、4回のイメージでやっていきたい。それでは、以上で第2回総合教育会議を終了する。

閉 会 午後0時04分終了